

マチとムラの消防



人は火を使用することで、食材を焼いたり、煮炊きしたりして食を豊かにしてきました。また、暖をとる熱源や、暗闇を照らす灯りとしても火を利用してきました。このように火は今も昔も人々の暮らしに欠くことができないものです。しかし、火は時に火災となって、大切な財産だけでなく命まで奪う恐ろしい存在でもありました。新潟市域には多くの火災発生の記録があり、市民は千軒以上の建物を焼失する大火もたびたび経験しています。

今回の企画展では、暮らしの中の火の利用とその脅威という視点で、江戸期から現代に至るまでの新潟市の消防に関わる歴史を紹介し、火に関連する生活道具、火災現場で使用された消防器具、大火の記録を伝える絵葉書や写真、消防組織の変遷を示す文書などの資料から、生活の中で利用されてきた火がもたらす恐ろしい火災に対して、時になすすべもなく被災し、時に立ち向かっていった人々の姿を思い起こしていただければと思います。

併せて、現在新潟市消防局に配備されている消防自動車の概要、隊員たちの日々の鍛錬や活動の様子も写真やパネルで紹介しします。



絵葉書「報時塔」当館蔵



とびぐち
「鷹口」新潟市南消防署蔵



「新潟市消防組第八部
さしこずきん ほんてん
小頭用刺子頭巾と半纏」当館蔵

体験プログラム開催時
消防車も敷地に来ます。
消防自動車と一緒に
子供用消防服に
着替えて記念写真も
撮れます！

■関連事業

【体験プログラム】平成21年11月29日(日) 午後2時～午後3時30分

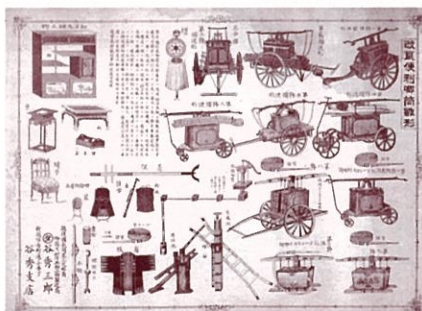
「腕用ポンプを動かしてみよう」**無料・申込不要**

腕用ポンプを使って実際に水を噴射します。※雨天の場合、要問い合わせ

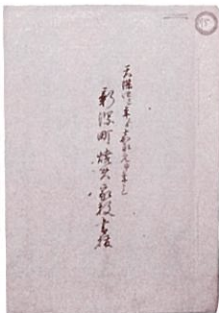
【体験プログラム】平成22年1月9日(土)・10日(日) 午後2時～午後3時30分

「緊急出動！君も消防隊員だ！」**無料・申込不要**

子どもたちがすばやく子供用消防服(小学生サイズ)に着替え、炎に見立てた標的を倒します。



そくとひながた
消防器具チラン「改良便利唧筒雛形」
新潟市蔵



「天保四日年より嘉永元年申年迄
新潟町焼失家数数書抜」当館蔵

Information

■観覧料(常設展示観覧料を含む)

	一般	団体(20名以上)
大人	500円	400円
大学生・高校生	300円	240円
中学生・小学生(平日)	200円	160円

※中学生・小学生は土日祝日の観覧が無料になります。

■開館時間／9:30～17:00(観覧券の販売は16:30まで)

■交通案内

- バス／新潟駅万代口バスターミナル13番乗車
・新潟市観光循環バス犬夜叉号(15分)
・新潟交通「昭和大橋経由入船営業所」行(25分)
いずれも「歴史博物館前」下車すぐ
- 車／新潟バイパス紫竹山IC～粟ノ木バイパス～
国道113号～柳都大橋右折:ICより約15分
[駐車場73台収容 無料]
- 信濃川ウォーターシャトル/敷地脇より発着

■休館日

- 11月24日(火)・30日(月)・12月7日(月)・14日(月)・
21日(月)・24日(木)・28日(月)～31日(木)
- 2010年1月1日(金)～4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)

